



ASTRO TECHNOLOGY  
SOHLA

# 宇宙開発協同組合SOHLA

夢で始まり 情熱を結集し ころろ豊かな社会を創る

〒577-0011大阪府東大阪市荒本北1-4-17  
クリエイション・コア東大阪 北館4階 409号  
TEL. 06-6747-8081  
FAX. 06-6747-8095  
代表者氏名: 枚本 日出夫  
URL: <https://sohla.com>

## 主要事業品目

- 宇宙産業用機器及び同部品の共同受注・共同開発・共同宣伝事業
- 組合事業に関する教育及び情報の提供
- 月面ロボットの開発

北館4階

409号

## 事業内容

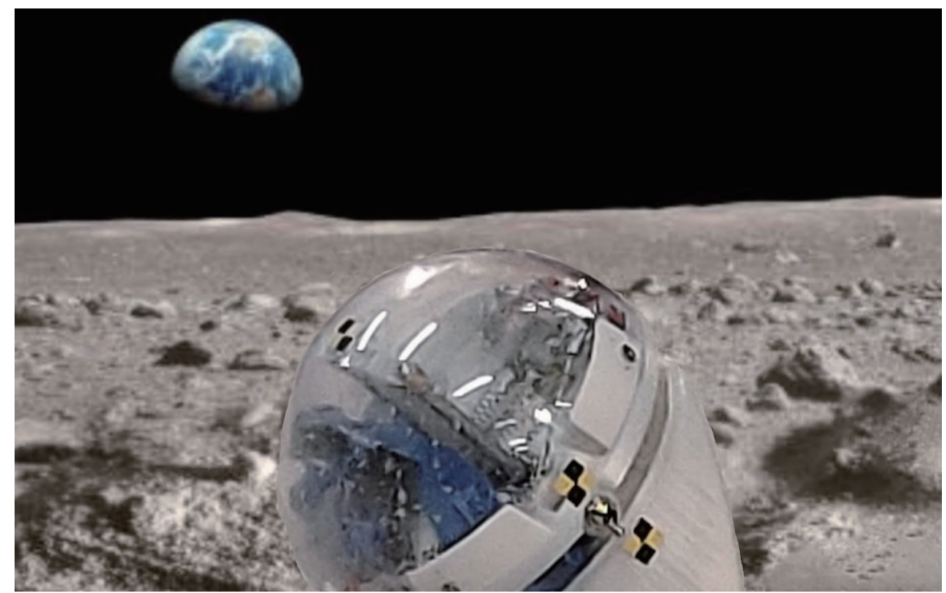
当組合は製造業の活性化を実現するため2002年に設立し  
**小型人工衛星「まいど1号」の開発**を行いました。

中小企業の技術を結集して開発された「まいど1号」は2009年1月に種子島宇宙センターから打ち上げられ、同日打ち上げの成功が確認されました。

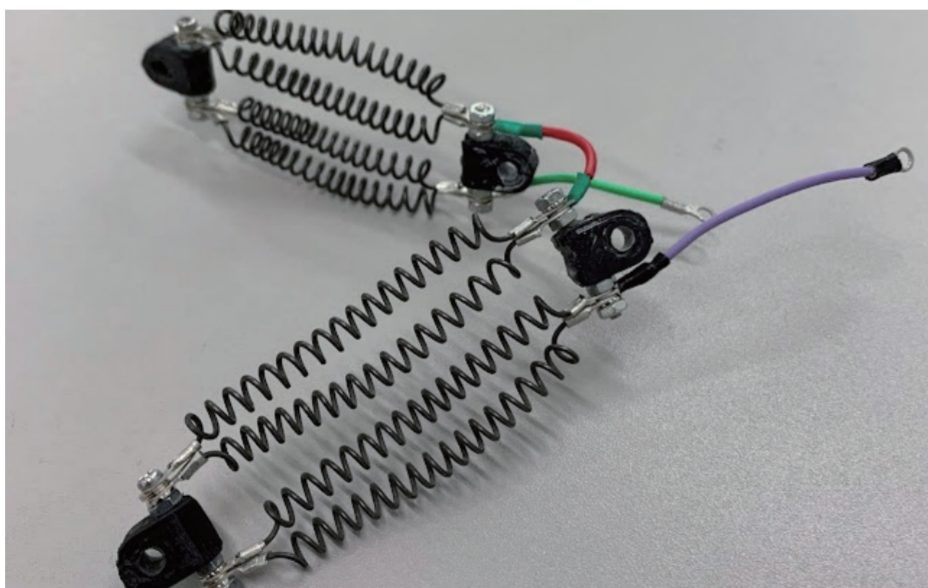
まいど1号の成果をロボット技術に活かし、ロボットを月面に降ろし動かしたいと夢のようなことを考えて「宇宙へ再び挑戦」することにしました。毎月2回の研究会の他、9つの部会で、JAXAの協力のもと、大阪工業大学、大阪公立大学と研究開発を進めています。



SOHLAは、有志の中小企業を中心とした産学官連携事業で「まいど1号」を開発した経験を活かし、宇宙産業における「ものづくり」分野の旗頭となり、日本の「ものづくり」の技術を世界にアピールし、中小企業そのものの繁栄を図ります。



46億年前から、地球のパートナーの月、月がなければ我々人類は存在できない。そんな月に想いを馳せ人工衛星「まいど1号」に続いて「月面ロボット研究会」を立ち上げました。高度660kmのまいど1号より遥かに遠く38万kmの月で跳ねて移動するロボットを開発します。



軽量化と簡素化の観点から、SMA(形状記憶合金)とバイアスバネのみを動力源とした月面ロボットを開発しています。また、SMAの将来の有用性を鑑み月面(超極真空)での動作検証も今回のミッションの一つです。



JAXA相模原(上写真)での跳躍実験の様子とプロジェクト会議の様子(下写真)です。厳しかった山登りも時間が経つと「また登りたくなる」ということで、組合本来の理念の実現を目指して、新たな開発に向けてプロジェクトを推進しています。